

## 平成 28 年度在京古高定時総会 講演紹介

### (1) 講演者: 大沼 直紀氏

医学博士、国立大学法人筑波技術大学元学長、  
東京大学先端科学技術研究センター元客員教授



### (2) 講演テーマ: 「あなたの耳は大丈夫? 聴力の衰えとその対策」

#### (講演要旨)

人の聴力は 30 代から少しずつ低下し始め、60 代から 70 代にかけて聴覚の老化がさらに進んでいきます。加齢による聞こえにくさは徐々に低下するので本人も気づかないまま対応が遅れてしまう心配があります。

足腰や目の衰えなどに比べ難聴は周囲の人から“見えにくい”障害なので、本人がどうっているか想像しにくく理解されにくいという問題があります。「テレビの音が大きすぎるから一緒に観ない」「声をかけても返事がないから余計な話はしない」「用件や約束などを聞き違えるので迷惑なことになる」など、聞こえの問題が人間関係にまで影響を及ぼします。

耳の遠い人には耳元で大きな声を出せばよいと考えている人が多いようですが、必ずしもそうではありません。難聴者には、小さな音が聞こえない一方で大きすぎる音には敏感で不快になってしまうという矛盾した特徴（聴覚の補充現象）があります。また、音としては聞き取れるのに何を話されているのか言葉の聞き分けが難しいという特徴（音声受聴明瞭度の低下）があります。顔を向きあい表情豊かに自然な抑揚で話すのが一番です。

講演では、次のことについて解説します。

- 「みる」に比べ「きく」ことへの関心は低い
- だれの耳も歳をとっていくもの
- 聞こえの問題は人間関係にも影響を及ぼす
- 治せる難聴と治せない難聴
- 音は聞こえるのに言葉が聞き取れない感音難聴の特徴
- 難聴の予兆を知る方法
- 最新の補聴器の性能と使い方
- 高齢者や難聴者にも聞きやすい話し方

### (3) 講演者プロフィール

#### 【略 歴】

1942 年生まれ、鳴子町出身  
1960 年古川高校卒業  
1965 年東北大学教育学部卒業。宮城県立聾学校教諭  
1980 年ワシントン大学医学部附属中央聾研究所留学  
1984 年国立特殊教育総合研究所・難聴教育研究室長  
昭和大医学部耳鼻科難聴・補聴器外来担当、  
医学博士  
1988 年筑波技術短期大学（現・筑波技術大学）教授  
2003～2009 年国立大学法人筑波技術大学学長  
2009～2015 年東京大学先端科学技術研究センター客員教授

#### 【現在の主な活動】

- ・つくば市教育委員長
- ・日本聴覚医学会代議員
- ・日本教育オーディオロジー研究会会長他

#### 【主要著書】

- ・「あなたの耳は大丈夫？」  
(1997 年 PHP 研究所)
- ・「教師と親のための補聴器活用ガイド」  
(2002 年コレール社)
- ・「バリアフリー・コンフリクト」  
(2012 年東京大学出版会)

